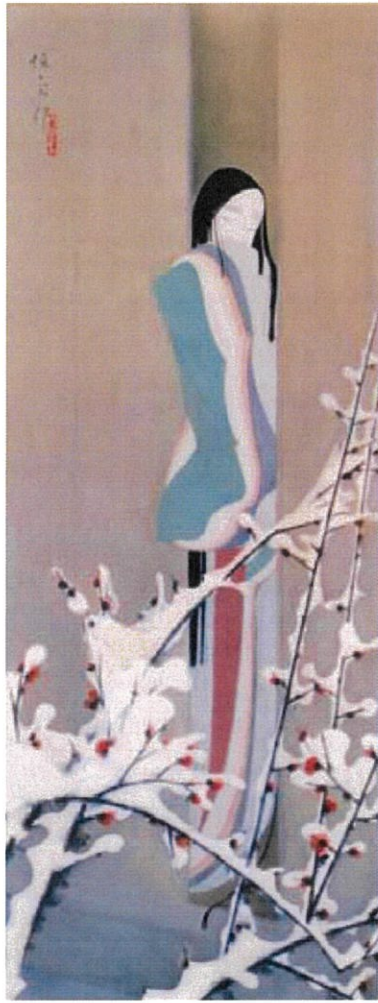


御簾（みす）の隙から、雪化粧梅花を眺める美女。日本画の大家・北野恒富による、王朝趣味溢れる美人画の佳作。北野は「盲目物語」をはじめ、谷崎作品の装丁・挿絵に数多く携わった。軸に仕立てた表装には、谷崎の妻松子の着物が使われている。



北野恒富「雪の朝」

春の特別展

展示作品から

「美」にこだわった文豪、谷崎潤一郎。そのお気に入りの、また作品世界に関わる絵画・美術品たちは、谷崎の美意識・審美眼を見事に浮き上がらせてくれるだろう。特別展では、谷崎ゆかりの数多くの名画・名品を贅沢に展示、様々な角度から「美の文豪」の世界に迫る。



棟方志功「菜果図」



俵屋宗達「源氏物語屏風切」

源氏物語五十四帖の各場面が描き込まれていた屏風から切り取り、画軸に仕立てたので「屏風切」という。俵屋宗達による大和絵の名品。高価な顔料の緑青や金泥を贅沢に使い、「須磨」の一場面を描く。

源氏物語口語訳を執筆していた谷崎の書齋に掛けられていた。



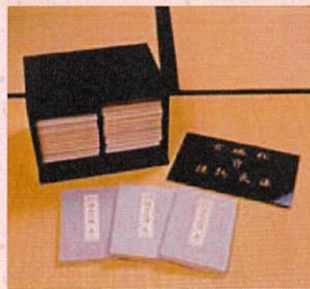
春の特別展関連講座
学芸員が語る春の特別展

「美の文豪、潤一郎」

4月25日(日)午後2時～3時

場 所：当館 講義室
定 員：20名（要予約）
持ち物：筆記用具
入館料のみで受講いただけます。

谷崎ゆかりの名画・名品を、数多く贅沢に展示する春の特別展。見どころや作品のあれこれを、学芸員がわかりやすく解説します。



潤一郎訳源氏物語黒漆箱限定版



同時開催 ロビーパネル展

「谷崎をめぐる女性たち」

3月13日(土)～6月6日(日)

入館料のみで観覧いただけます。

女性の美をこよなく愛し描いた文豪谷崎潤一郎。80年に及ぶその生涯を縁どった女性たちの、色とりどりのポートレートを集めてみました。

谷崎三人目の妻・松子
昭和9年頃、芦屋打出の家にて



芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 Tel:0797 (23) 5852/Fax:0797 (38) 3244
e-mail: ashia-tanizakikan@shopro.co.jp ホームページ: https://www.tanizakikan.com